

## 質問整理表

NO	日付	質問	回答時期	内容	参考資料
1	R5. 11. 30	基本方針から見直していくということで、どこまで見直すという明確な方針はあるか。	第2回委員会	見直し方針6頁の基本的な考えに基づいて見直しを行っていきます。	見直し方針6頁参照
2	R5. 11. 30	町と山下・三浦JVの契約内容は。	第2回委員会	契約の概要をお示しします。より詳細にということであれば仕様書等も開示させていただきます。 契約名：庁舎改築周辺整備基本計画・基本設計策定委託 期間：令和3年11月30日～令和5年3月24日 請負額：106,480千円	
3	R5. 11. 30	今までかかったコストと、どの段階までお金がどれだけ使われてるのか。	第2回委員会	令和元年度から令和4年度までで、約3億円となり、主なものを記載しましたが、より詳細な資料も必要に応じて開示させていただきます。 【主なもの】 基本計画・基本設計策定 106,480千円 ガソリンスタンド移転補償 134,137千円 地質・測量調査 13,948千円	見直し方針14頁参照
4	R5. 11. 30	基本設計と実施設計は何が違うのか。	第2回委員会	前回議事録にある山下・三浦JV窪田氏の説明をご確認ください。不明点等については事務局にお問い合わせください。	第1回推進委員会議事録
5	R5. 11. 30	基本設計と実施設計は、どれくらい実際の実務でコストに違いがあるのか	第2回委員会	概ね「基本設計3：実施設計7」と考えていますが規模や仕様書の内容等により、変動することがあります。	「国土交通省 官庁施設の設計業務等積算基準」（新・建築士制度普及協会）
6	R5. 11. 30	設備設計とか今後の管理維持費コスト等の研究について山下・三浦JVに協力会社があるのか、その協力会社に対して、この基本設計費というのはどの程度分担されているのか	第2回委員会	基本設計の基本的な項目については、山下・三浦JV内で実施しています。	

7	R5.11.30	近隣市町の役所・役場の職員数に対するサイズ、コスト、面積などを比較したものが欲しい。	第3回委員会以降	比較に当たり、条件等を揃えるための調査が必要なため、第3回委員会以降に開示します。 現時点でお示しできる近隣自治体の建築単価・面積は見直し方針に記載のとおりです。	見直し方針9頁参照
8	R5.11.30	ライフサイクルでどういうコストがかかるのかというのを、かなり長期に渡って計算して欲しい。	第3回委員会以降	基本設計の段階では、比較検討はしておりますが、より具体的な計算については実施設計時に行う予定となっております。 基本設計時点でも概算値は算出できるので、見直しの際に参考値として算出することを検討します。	
9	R5.11.30	初期投資に対して、ZEB等によりランニングコスト面でいくら削減できるかといった資料が欲しい。			
10	R5.11.30	基本設計時点で庁舎48.4億となっているが、その他費用も含め、結局いくらになるのか。	第3回委員会以降	庁舎のその他費用17億円の内訳については、概算額で基本計画の47頁に記載しております。 【概算額内訳】 外構工事費 約9億円 既存施設解体費 約3億円 新規備品購入費 約2億円 システムや通信設備等の移転費 約3億円 「結局いくらになるのか」というご質問に対して現段階でははっきりとお示しできませんが、可能な限り情報開示をしていきます。	基本計画47頁参照
11	R5.11.30	軽井沢町が保有している公共施設等の資産情報が欲しい。	第3回委員会以降	公共施設の一覧は別紙のとおりお示しできますが、分散化に当たって活用できるか等の検討については未検討事項となります。	軽井沢町総合管理計画4・5頁参照
12	R5.11.30	深山荘とかユースホテルとか、ほったらかしになっている部分があるので、その辺とかももっと使えないのか。			
13	R5.11.30	浅間山の噴火や地震に対し、どの程度耐久性があるのか。	第2回委員会	基本計画の37から39頁、基本設計18頁に詳細に記載してありますのでご覧ください。 また、第2回目の委員会において設計者からもご説明させていただきます。	同左資料を参照
14	R5.11.30	移住者っていう形でこの軽井沢の人口が増えていく可能性も踏まえた中長期的なビジョンとそれに耐えうる庁舎か。	第3回委員会以降	コロナの影響により、想定以上に人口が増えていますが、町の人口ビジョンとしては、2030年頃をピークに人口減少を見込んでいます。本事業においても人口減少やDX化、また高齢化などを見据えた柔軟な計画としています。	長期振興計画30頁参照

15	R5. 11. 30	最も大切な町民に対するコミュニケーションのところの設計がちゃんとなされているのか。町民に対するコミュニケーションのプロフェッショナルがこの事務局のJV設計側にいるのか。	第2回委員会	山下・三浦JVにはそういった人材もあり、前回のWSでも一定の評価をされた方もおります。意見を踏まえまして、次回のWSでは内容、やり方等について本委員会でも検討・調整し、開催していきます。	
16	R5. 11. 30	公共団体関係者、教育委員、社会教育委員はそれぞれ開発計画のどの時点から関わられているのか？	第2回委員会	新たな委員会の立ち上げの際に選任させていただいたため、公募委員の皆様と同時期となります。 (令和元年11月に設置した庁舎改築周辺整備事業検討委員会内に公共的団体の関係者等もおりましたが、当時は別の方を選任しています。)	
17	R5. 11. 30	民有地についてどれほど移転交渉されてきたのか？等価交換の提案は行ったのか？	第2回委員会	民有地については、平成29年頃から交渉はしていましたが、取得について再交渉を始めたのが令和4年度末からとなり、現段階では交渉の話に乗っていただいている、見直し方針として資料に出せるまでの話となっています。	